

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	くらふとスポーツキッズ	公表日	2026年 3月 2日
------	-------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			現状を維持します
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			現状を維持します
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・活動の流れをホワイトボードに示し、児童と一緒に確認しています ・技の名前やイラストを用いて説明を行っています	今後も必要に応じて環境整備に努めてまいります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用者の降所後、清掃を行っています	現状を維持します
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		休憩をとる場合や気持ちを落ち着かせたいときには、個に合った空間で職員が見守り、安全に過ごしています	現状を維持します
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			職員間での意見交換ができる機会を作り、今後の支援に繋げていきたいと思っております
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で意見・要望等を把握して、要望等に応えられるように取り組んでいます	現状を維持します
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを行い、意見交流をしています	現状を維持します
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による評価は行っていません。	必要を検討したうえで、今後体制を整えていくよう努力します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修に参加し、参加できなかった職員には内容を共有しています	今後も積極的に参加し、職員の資質向上に努めます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています	現状を維持します
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・子どもの姿を見て児童発達支援計画を作成しています ・面談時や参観日で保護者のニーズや困りごとを聞いています	今後も面談時や参観日等でアセスメントを行い、子供の状態を把握できるよう適宜見直してまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画会議の中で、携わる職員が個々の成長や発達に合わせた目標を話し合っています	子どもの視点でとらえ、個に合った療育を提供できるように努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報を共有し、個々の成長に合わせた支援ができるよう取り組んでまいります	現状を維持します
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日常生活での様子や家庭・学校での様子を聞き取り、柔軟に対応できるようにしています	現状を維持します
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援を具体的に記載するように心掛けています	現状を維持します
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		基本となる案を計画した後、職員間で相談し確定しています	現状を維持します
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			縄跳びを行ってほしいという要望もあるので、実現に向けて前向きに検討してまいります

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別療育と集団療育の職員が話し合い、個に合わせた課題を共有しています	その子に合った支援計画となるよう、職員間でミーティングを行い、個別・集団の双方で取り組める支援計画作成を意識しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	定期的にミーティングを行い、意見交流をしています	現状を維持します	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	良かった点、気を付けるべき点について確認して次回の支援に繋げるようにしています	現状を維持します	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援終了後には、必要事項についての記録をしています	今後の記録の徹底と検証・改善に努めます	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	毎日の様子を記録し支援目標が達成できるような支援を行い、定期的に児童発達支援計画を作成しています	現状を維持します	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に職員間で情報を共有し、担当職員が参加しています	今後も外部と連絡をとれるようにしていきます	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		今後関係機関と連携する環境を整えていきたいと思います	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		今後関係機関と連携する環境を整えていきたいと思います	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		今後関係機関と連携する環境を整えていきたいと思います	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		今後検討していきたいと思います	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		今後検討していきたいと思います	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックの中で保護者様と情報を共有しています	現状を維持します
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談を行っています	現状を維持します	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にお伝えし、質問にも答えています	現状を維持します
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ニーズや願いを聞く場を設けて、意向を確認しています	現状を維持します
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明を行い、同意を得ています	現状を維持します
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの質問や相談にいつでも答えることができるように、職員間で情報の共有を行っています	今後も気軽に相談できる環境や関係性作りを努めます

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		活動中、保護者様同士が交流できる環境にあります スポーツ交流会を実施しました	現状を維持します	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		貴重なご意見や要望には、職員間で共通理解を徹底しています 体制に対する不備などは、今後の対応について話し合い、保護者様に報告しています	今後も相談や申し入れ等には、真摯に向き合い迅速に対応していきます	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		参観日を設けたり、インスタグラムを更新して日頃の様子を発信しています	現状を維持します	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意しています	今後も留意していきます	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		写真やイラスト・文字などで分かりやすく伝えるよう心がけています	現状を維持します	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討していきたいと思います	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルに沿って対応できるようにしています	現状を維持します	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練の実施を行っています	現状を維持します	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者様に事前に聞き取りを行っています	現状を維持します	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		事業所で食べ物を提供するときがありません	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事故時の対応などについての研修を行っています	現状を維持します	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡手段を事前にお伝えし、対応できるように努めています	現状を維持します	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が発生した時には速やかに職員間で報告をし、再発防止に努めています	現状を維持します	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修を受け、共通理解するようにしています	職員間でコミュニケーションをとり、虐待防止に努めます		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を必要とするお子さまが居ません	やむを得ず、身体拘束を行う場合には事前ン位保護者様に報告をし、承諾を得たうえで行います 支援計画にも記載していきます		